

教育委員会会議録（12月定例会）

日 時

平成26年12月19日（金）
午後3時05分から午後3時55分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	花田 和郎
委員長職務代行者	上村 由美
委員	森嶋 鎮一郎
委員	伊藤 吾子
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

教育部長	作間 忍
総務課長	窪田 康徳
総務課課長	川崎 浩行
学校施設課長	関根 博之
学務課長	大友 正徳
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	佐川 勝宣
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	内山 信弘
郷土博物館副参事	清水 博之
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	大沢 靖司
宮田調理場長	齋藤 淳
総務課課長補佐(兼)庶務係長	中村 大介
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第12号 教育委員会11月定例会の会議録について

2 議 案

議案第50号 日立市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定

議案第51号 日立市奨学生選考委員会委員の任命について

3 その他

(1) 平成26年第4回市議会定例会について

(2) 学校給食共同調理場の適正配置について

(3) 平成26年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について

(4) 第61回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について

(5) 児童生徒の状況（いじめ・不登校）について

(6) 児童生徒の表彰等について

(7) 多賀図書館耐震補強工事について

(8) その他

(9) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後 3 時 0 5 分

委 員 長

それでは、只今から 1 2 月の教育委員会定例会を開催します。
今月の定例会の傍聴希望者はありません。

2 報 告

報 告 第 1 2 号

教育委員会 1 1 月定例会の会議録について

委 員 長

報告第 1 2 号について、御意見を伺います。いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 事

議 案 第 5 0 号

日立市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

委 員 長

それでは次に議事に移ります。
議案第 5 0 号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長

複数の学校が共同して当該学校の事務の一部を実施することに関し必要な事項を定めるため、日立市立学校管理規則の一部を改正する規則を制定するものです。

日立市立学校管理規則第 1 8 条の 2 及び第 1 8 条の 3 を繰り下げ、新たな第 1 8 条の 2 として、学校事務の共同実施について規定した条文を加えます。

併せて、日立市立幼稚園管理規則に生じる条項ずれについて、附則により改正することとします。

施行期日は、平成 2 7 年 4 月 1 日です。

なお、学校事務の共同実施とは、学校に勤務する学校事務職員が、共同で複数校の事務・業務を、効率的・効果的に実施し、学校事務の適正かつ円滑な執行、事務機能・体制の強化や確立を図るためのものです。

また、教員が教育活動に専念できる体制づくりや、事務職員の持つ行政的な専門知識や能力の学校運営への活用を図るとともに、学校間や地域との連携を進め、効果的な教育支援を行い、学校教育の充実を目指します。

(本件については原案どおり承認されました。)

議案第51号 日立市奨学生選考委員会委員の任命について

委員長 次に、議案第51号について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 日立市奨学生選考委員会委員に欠員が生じたので、新たに委員を任命するものであります。

日立市連合民生委員児童委員協議会役員の改選に伴い、1名の委員を新たに任命します。

任期は、残任期間である平成26年12月19日から平成27年5月31日までとなります。

(本件については原案どおり承認されました。)

4 その他

(1) 平成26年第4回市議会定例会について

委員長 続きまして、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教育部長 平成26年第4回市議会定例会について、報告します。
会期は、平成26年12月4日から、昨日の18日までです。
まず、一般質問については、教育委員会関連の質問が2件ありました。

1件目は、日本共産党の小林真美子議員からで、教育の一環である学校給食について、2点の質問がありました。

1点目は、学校給食における食育について、日立市ではどのような取組をしているのかという質問です。

答弁としましては、国や県の調査によると、本市の子どもは、朝食の欠食が少なく、肥満や痩せすぎも少ないが、野菜嫌いは多いという傾向が見られるという実態を述べた上で、望ましい食習慣の形成を目的として、バランスの良い栄養を摂ることの大切さなど、食

生活に必要な知識や、食に対する感謝の気持ちを育てる食育に取り組んでいるということを伝えました。

2点目としては、食材の安全性についてということで、食材に関する安全上の対策をどのように講じているかについて、質問がありました。

これに対しては、食材の流通ルートや納入業者が明らかで、信頼できることが大切だという認識を示した上で、主食については、県の学校給食会が、副食については、市の学校給食会が設置する審査委員会が、産地や流通ルートを明らかにできる業者を選定していることや、食材の納入に当たっては、その食材の産地やアレルギー物質を含む原材料、品質などを職員が必ず確認しているということを答えました。また、食材の放射能汚染への対応については、給食用食材の放射能検査を毎日実施して結果を公表していることを述べました。

次に、2件目の質問として、民主クラブの高安博明議員から、交流人口の拡大についてということで、日立市の自然を生かした取組について、2点の質問がありました。

1点目は、本市にはスポーツ合宿を誘致するためのよい自然条件が揃っているが、誘致に向けた検討の推進状況について伺いたいというものです。昨年も同様の質問がありましたが、それを踏まえた上での推進状況についての質問です。

これについてですが、合宿の誘致については、現在、観光物産協会が中心となり、スポーツ振興課、観光物産課、体育協会、ホテル旅館業組合等を交えたスポーツ・ツーリズム関係者で会議を開催するなど、実施に向けて検討を進めているところです。本年8月には、観光物産協会がアンケート調査を行いました。その結果を踏まえた上で、今後も引き続き、課題の整理・分析、対応策について検討を重ね、合宿誘致の実現に向けた取組を進めていきたいということを答弁しました。

2点目の質問は、合宿の誘致を推進し、交流人口の拡大を図るため、市独自の補助支援制度を設けてはどうかというものです。

この制度に関しては、費用対効果の面から検証していく必要があると考えています。本市の合宿誘致の取組をPRする上での魅力の1つとなり、事業の促進に効果が期待できますので、すでに実施しているいわき市など、他の自治体の取組等も参考にしながら、十分検討を進めていきます。

この答弁に対して、議員からは、自然環境を生かした合宿誘致に努めるということなので、期待したいという意見をいただいています。

次に、議案質疑についてですが、民主クラブの塚田明人議員から、日立市市民広場等の指定管理者の指定についての議案に対し、滑川

市民広場の指定管理者の候補者を、非公募で滑川ファミリースポーツクラブとした理由についての質問がありました。

これに対しては、滑川市民広場が、管理人が常駐しない無人施設であることから、利用者から不便であるとの意見をいただいていることを述べた上で、今回、滑川ファミリースポーツクラブから申込みがあり、審査の結果、管理運営の能力が十分であると判断し、また、利便性を考慮し、候補者としたものであるということをお答えしました。

続いて、教育福祉委員会においては、教育委員会関連の7つの議案について審査していただき、先日、本会議において可決されました。

(2) 学校給食共同調理場の適正配置について

委員 長 それでは次に、その他(2)について、総務課課長から説明をお願いします。

総務課課長 学校給食共同調理場の適正配置について、説明します。

近年、児童生徒数の減少により、配食数は減少傾向となっておりますので、調理場施設の効率的な運営のため、施設配置及び管轄区域の見直しが必要となっております。

また、宮田調理場は、建設から31年が経過し、施設、設備の老朽化が進んでおり、建て替えが必要となっております。

さらに、十王調理場については、配管や冷蔵庫等の設備の更新時期を迎えていまして、今後も維持するためには、多額の費用がかかるという状況です。

これらのことから、調理場の適正配置について、学校給食共同調理場運営審議会に諮問することとします。

審議会には、少子化による今後の児童生徒数の減少等を勘案しながら、効率的な運営をしていくために、宮田調理場の建替えの時期に向け、現在の3場体制を継続するのか、あるいは調理場を統合するのかについて、検討していただきたいと考えています。

(3) 平成26年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について

委員 長 それでは次に、その他(3)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 平成26年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について、説明します。

この事業は、本市教育の振興発展に寄与した学校又は教職員を褒賞することにより、教職員の勤務意欲を向上させるとともに、先進的な実践の共有化を図り、もって本市教育の振興発展を図るため、実施するものです。

対象は、市立小学校、中学校、特別支援学校及び幼稚園と、そこに勤務する職員としています。

なお、褒賞の基準は、主に6点あります。

1点目は、学習指導、2点目は、生徒指導、進路指導、学級・学年・学校経営、3点目は、学校図書、情報教育、学校体育、学校保健、学校給食、4点目は、特別支援教育、5点目は、地域の歴史の継承、伝統文化の継承又は発展、6点目は、その他模範となる実践又は行為についてです。

以上の基準から、今年度の被褒賞者を決定しました。

まず、学校の部の被褒賞者は、幼稚園1園及び1団体、小学校5校、中学校2校です。

幼稚園1園は、豊浦幼稚園で、受賞理由は、園児の心身の調和的な発達に大きく寄与しているためです。

幼稚園1団体は、日立市立幼稚園教頭主任会で、研究を通し、教頭及び主任が果たす役割をより明確にしたことや、公立幼稚園全体で共通認識を図るなど、幼稚園教育の一層の振興に大きく寄与していることを認めたものです。

小学校5校のうち、会瀬小学校、大沼小学校、豊浦小学校については、茨城県体力づくり優秀賞を受賞しているため、特に、大沼小学校については、4年連続で優秀賞を受賞しています。

大久保小学校については、茨城県動物愛護実践校表彰において、保健福祉部長賞を受賞したためです。

久慈小学校については、ボランティア活動により、国土交通大臣表彰を受けたためです。

中学校2校は、河原子中学校と久慈中学校で、受賞理由は、茨城県体力づくり優秀賞を受賞しているためです。

次に、教職員の部ですが、今年度は、教諭6名、養護教諭1名、用務員1名、学校事務員1名、図書事務員1名の計10名と、多くの職種の職員に対し、それぞれの分野での貢献により、褒賞することとしました。

それぞれの受賞理由についてですが、中小路小学校事務員の戸祭君江さんは、同校7年目の勤務となりますが、より良い学校環境づくりに貢献したためです。

河原子小学校教諭の信田秀穂さんは、教務主任を担当し、本校児童の学力向上に貢献したためです。

大沼小学校教諭の小川正博さんは、体育主任として、児童の体力運動能力向上に貢献したためです。

大沼小学校用務員の辻生智行さんは、同校2年目の勤務となりますが、大沼スクールミュージアム構想の実現に貢献したためです。

豊浦小学校教諭の高久宏道さんは、児童の体力運動能力向上に貢献したためです。

櫛形小学校養護教諭の但野久子さんは、同校5年目の勤務となりますが、児童の心身ともに健康な学校生活への支援に努めていることや、昨年度まで、1人で1,000名近くの児童の保健に関わっていただいたことに対し、褒賞します。なお、櫛形小学校には、今年度から複数の養護教諭を配置することができました。

櫛形小学校図書事務員の石川仁美さんは、同校10年目の勤務となりますが、図書館内の環境整備に貢献したためです。

平沢中学校教諭の平根聡子さん、日立特別支援学校教諭の高野都さん、豊田聡さんについては、特別支援教育の指導や支援に付与したためです。

委員 私表彰事業で一番気になるのは、何を観点として選んでいるかです。

観点がしっかりしていないと、なぜあの人やあの学校を選んだのかという話になってしまいます。

先ほど、分かりやすく観点が示されましたが、このような観点から選びましたということがあれば、多くの方が納得しやすいのではないかと思います。

ところで、去年は、幼稚園や幼稚園団体に対しての褒賞はありましたか。

学務課長 幼稚園に対してはありましたが、幼稚園団体に対しては、初めてとなります。

小・中学校の団体でしたら、英語教育に関して褒賞を行ったことはあります。

委員 今回は、いろいろな職種の方が受賞されていますが、非常勤の方はこれまでもありましたか。

学務課長 用務員の方や学校事務員の方に対しては、初めてです。

委員 表彰はどのように行うのですか。

学務課長 1月21日の学校長・園長連絡会議終了後、教育論文表彰と合わせて表彰します。

(4) 第61回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について

委員長 それでは次に、その他(4)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 第61回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について、説明します。

今年度の応募数は、個人13編、共同4編の、合計17編で、応募総数は、132名です。

学校種別の応募状況については、10年ぶりに幼稚園からの応募が1編あったほか、小学校5校から13編、中学校2校から2編、特別支援学校から1編の応募がありました。

研究分野別では、今年度の特徴として、昨年応募がなかった「生活」、「音楽」、「保健体育・体育」、「特別活動」、「キャリア教育」について応募がありました。

次に、審査結果についてですが、最優秀賞は、日立特別支援学校の高野都先生をはじめとし、同校の全教職員が特別支援教育についての研究をまとめた「一人一人のキャリア発達を促す指導・支援の在り方」です。

優秀賞は2編で、大沼小学校の水野聡子先生の「自他の生命を尊重する心を育てる道徳教育のあり方」と、同校神山智恵美先生の「児童の「気付きの質」を高める生活科学習指導の在り方」です。

優良賞は6編で、豊浦幼稚園の弓野恵先生をはじめとした4名の先生による幼稚園教育についての論文、金沢小学校の武石弘之先生による社会についての論文、大沼小学校の小林宏美先生による道徳についての論文、同校小川正博先生の体育についての論文、会瀬小学校の吉田倫子先生をはじめとした18名による算数についての論文、滑川中学校の小澤理江先生による学校経営についての論文が、それぞれ受賞することとなっています。

表彰は、1月21日の学校長・園長連絡会議終了後に行うこととします。

(5) 児童生徒の状況(いじめ・不登校)について

委員長 それでは次に、その他(5)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 児童生徒のいじめ、不登校の状況について、報告します。

まず、児童生徒の不登校の現状についてです。

不登校児童生徒数は、平成26年11月末現在で141名と、昨年度と比較して17名の増となっています。

全欠者数は、昨年度より4名増の30名です。

また、学年別不登校者数の推移についてですが、昨年度の小学校6年生は、昨年度末時点で14名だったのに対し、今年、中学校1年生になりまして、2倍以上の32名に増えています。同じく、今年の中学校2年生は、昨年度末21名だったのに対し、44名にまで増えています。

不登校の傾向としまして、今年度は、増加傾向にあります。

また、30日以上欠席の児童生徒数が多いため、不登校率も高く、特に、先ほど説明しましたとおり、中学校1年生と中学校2年生の増加が大きくなっています。

なお、今年度は、11月末までに小学校2件、中学校6件の不登校が解消されています。

不登校の理由としては、「不安など情緒混乱型」が、小学校12件、中学校47件と最も多く、次いで「無気力型」が、小学校5件、中学校31件となっています。

対策としましては、まず、平成26年4月23日付け「日立市長期欠席児童生徒の報告について」の通知の中で、「援助、指導上の留意点」を示したり、各学校において、家庭訪問、夜間登校、保健室登校などを実施し、少しでも児童生徒に接触できるように努めたりしています。

また、児童相談所、子ども福祉課、こども発達相談センターなどの関係機関との連携を図っています。

さらに、11月18日に実施した生徒指導主事研修会において、不登校児童生徒への対応をテーマにしたワークショップ型の研修を行いました。

続きまして、いじめの現状についてです。

11月末現在、小学校から15件、中学校から26件、合計41件のいじめについて報告がありました。

報告があった41件のうち、38件についてはすでに解消済みですが、小学校1件、中学校2件が、現在も経過観察中となっておりますので、学校において丁寧な対応をとっているところです。

今年度の傾向としましては、中学校で認知した件数が、昨年度より増加傾向にあります。

また、学年別では、小学校6年生から中学校2年生までに多く、男女別では、小学校が男子、中学校が女子に多くなっています。

いじめの内容については、「言葉による暴力」が、小学校7件、中学校5件と最も多く、次いで「暴力を振るう」が小学校2件、中学校9件となっています。

対策としましては、まず、平成26年5月2日付け「いじめ調査関係書類の送付について」の通知の中で、「いじめ問題への対応」を示しました。

また、各校が策定しました「学校いじめ防止基本方針」を基に、組織的な対応を行っているところで、特に、未然防止の取組と、早期発見・早期対応を重視することとしています。

なお、学校がいじめを認知した際には、教育委員会に報告することとし、教育委員会は、本人及び保護者への対応等を含めた助言・指導を行い、経過を見守っています。

今後も、未然防止に向けた取組を行っていきたいと思います。

(6) 児童生徒の表彰等について

委員長 それでは次に、その他(6)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 児童生徒の表彰等について、報告します。

まず、平成26年度「いばらきの魅力再発見事業」については、複数部門において受賞がありました。

だいすきわがまち自慢作文の個人部門では、仲町小学校6年生の池田果南さんが、茨城新聞茨城会長賞を、大沼小学校4年生の柳沼篤志さんが、優秀賞を受賞しました。

団体部門では、学校全体で熱心な取組をした学校として、東小沢小学校、仲町小学校、久慈小学校、河原子小学校、田尻小学校が、学校賞を受賞しました。また、学校賞に準じる取り組みを実施し、次年度への奨励を促す学校として、会瀬小学校、大久保小学校、大みか小学校、金沢小学校、塙山小学校が、学校奨励賞を受賞しました。

学校ホームページ部門では、中小路小学校の「伝え続けよう郷土愛」という作品が、茨城県教育長賞を受賞しました。

次に、第42回「花と緑の環境美化コンクール」では、花いっぱい運動特別奨励賞を中小路小学校が、花いっぱい運動特別賞を金沢幼稚園が、それぞれ受賞しました。

続いて、平成26年度交通安全優良学校として、河原子小学校が選ばれました。これは、都道府県で学校1校が受賞するもので、1月16日に、日比谷公会堂において開催され、秋篠宮殿下や内閣総理大臣が出席する中央大会で、表彰されます。

(7) 多賀図書館耐震補強工事について

委員長 それでは次に、その他(7)について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長

多賀図書館耐震補強工事について、説明します。

多賀図書館がある教育会館については、すえひろ地区公共施設再整備方針において、存続施設として位置付けられていますが、昭和56年以前の旧耐震基準の設計で建築された施設であることから、昨年度、耐震診断を実施しました。

その結果、1階がI s値0.48、2階がI s値0.40で、学校の基準としている耐震判定指標0.7を下回り、耐震性能が確保されていない建物であると判定されたことから、今年度、耐震補強工事を実施することとしたものです。

工事期間は、平成26年12月11日から平成27年3月31日までです。

工事の概要ですが、室内を使用しながらの施工が可能である、ピタコラム工法を採用しています。主な工事として、南側外壁と北側外壁に鉄骨ブレース取付工事、2階参考図書室の壁補強工事、各階トイレの耐震スリット工事などを行います。

工事に伴う図書館の運営についてです。

大きな音のする工事は、12月の土曜日、日曜日と、1月5日から1月19日までを全館休館として、その期間に行います。

また、乳幼児を対象とした「おはなし会」、「ブックスタート」などは、工事に先駆けまして、11月から大久保交流センターで開催しています。

なお、臨時休館日の変更がある場合は、館内掲示板及び図書館ホームページでお知らせすることとしています。

(8) その他

委員長

それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

生涯学習課長

3点の案件について、説明します。

まず、第14回青少年のための科学の祭典・日立大会の結果について、報告します。

去る11月30日、日曜日に、快晴の下、日立シビックセンターマープルホール及び1階ギャラリーで開催しました。

本年度の出展ブースは56ブースで、過去2番目に多い出展となっています。

また、参加講師及びスタッフ数は、過去最多の330人でした。

昨年度から、近隣の中学校が振替授業で見学に来るなど、小中学生を対象とした科学のイベントとしては、多くのリピーターに支えられている祭典となっています。

会場内は、閉会式まで終始にぎわいを見せており、入場者数も過

去最多の5, 120人となるなど、盛況のうちに開催することができました。

次に、2015年日立市成人祝の概要について、説明します。

平成27年1月11日、日曜日の午後1時から2時30分まで、日立シビックセンター新都市広場で開催します。なお、荒天時には、日立市民会館に会場を移して実施する予定です。

対象者は、平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方で、12月17日現在、本市の住民基本台帳登録者1,816名と、登録外の方108名の、合計1,924名となっています。

主催は、学校からの推薦と公募による新成人34名をメンバーとした、2015年日立市成人祝実行委員会です。

当日の内容としましては、記念式典終了後、アトラクションとしてエコバルーンリリースを行い、その後、出身中学校ごとに記念撮影を行います。

過去の参加状況ですが、対象者の参加率は、おおむね75パーセント前後となっておりまして、今年度も同程度を見込んでいるところです。

最後に、「ともそだち講演会」実施について、説明します。

まず、講演会実施の趣旨についてです。

公益財団法人小平記念日立教育振興財団の日立家庭教育センターが、本年度末で閉じることになりました。来年度以降、これまでの事業の趣旨を、市に引き継いで欲しいとの申し出がありましたので、その一環として、センターとの共催により、自立を促す家庭での子どもへの接し方や、自己肯定感を育む子育てなどの視点から、講演会を実施するものです。

対象は、未就学児を持つ親及び保育・幼児教育関係者150名程度を予定しています。

講演会は、平成27年3月21日、土曜日の午前10時から正午まで、日立市保健センターのホールで開催します。

講師は、白梅学園大学学長で、東京大学名誉教授でもある、汐見稔幸先生です。

演題を、「子育てで一番大切なこと～新学期を家族で楽しく迎えるために～」としまして、入学や入園など、新学期を迎える4月を前に、子どもの育ちを支えるために大切なことは何か、具体的な関わり方やことば掛けなどについて、講演をいただきます。

広報として、1月20日号市報に掲載し、1月21日から電話で参加を受け付ける予定です。

委員 その他、ほかにある方はいますか。

ス ポ ー ツ
振 興 課 長

2点の案件について、説明します。

まず、第15回日立さくらロードレースの開催について、説明します。

来年のロードレースは、4月5日、日曜日に開催することとなりました。

申込期間は、1月7日、水曜日の昼12時から2月2日、月曜日までで、申込は、インターネット又は電話によるものとします。

なお、今回、これまで折り返し地点となっていた公設市場が工事中のため、ハーフマラソンのコースに変更があります。その関係で、最初のレースである10kmマラソンのスタート時間は、前回より5分早い9時となっています。

次に、サッカー日本代表チームドクターによる特別講演会について、説明します。

講師は、サッカー日本代表チームドクターで、順天堂大学医学部整形外科先任准教授の池田浩さんです。池田さんには、今年1月にも講演会に来ていただきましたが、6月のワールドカップが終わりましたので、再度講演会を実施するものです。

題目を、「2014年FIFAワールドカップ・ブラジル大会を振り返って ～代表チームから学んだもの～」とし、ワールドカップの現場や選手とのエピソード、また、チームドクターとしての怪我への対応等を盛り込んだ講演をいただく予定です。

開催日時は、平成27年1月25日、日曜日の15時から16時30分までで、会場は、日立市民会館となります。

今回は、主に指導者の方を対象とした講演でしたが、今回は、小学生、中学生、高校生向けの話を中心に講演いただけるということです。

(9) 次回の教育委員会の日程について

委 員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総 務 課 長 平成27年1月30日、金曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

委員 長　それでは、以上をもちまして、教育委員会12月定例会を終了いたします。